

奈良市における新型コロナウイルス感染症への対応

本日午前9時から第14回新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、下記のとおり協議しました。

1 市の感染状況

新たな感染確認はなし。（これまで4例の陽性を確認し、うち3例は退院。1例が入院中。）

奈良市は地域として政府の専門家会議の提言である<感染状況が一定程度に収まってきている地域>とし、感染拡大のリスクが低い活動から再開を検討する。

2 各部・課の対応状況

(1) 保健所：市保健所への問合せ件数は2,035件（3月22日現在）。

PCR検査：延件数78件（陽性患者の再検査含む）実検査人数61人

(2) 観光経済部：宿泊・飲食業に対する新たな支援を検討中

セーフティーネット保証制度（中小企業者を支援するための国の支援）

4号=44件認定、5号=1件認定

(3) 人事課：市職員の状況

① 時差出勤状況 62人（3月22日現在：前回と変更なし）

② 時差出勤の制度を4月末まで延長。

③ 海外旅行は今後自粛を要請。海外に行った職員は経過観察のため渡航先の状況を鑑み1～2週間の自宅待機を命じる場合がある。

3 学校園について

(1) 入学式

小学校・中学校・高等学校の体育館等で開催時間を30分以内として卒業式と同様に短縮して実施。参加者は新入生の他、教職員、同居している2名以内の保護者のみとする（在校生・来賓はなし）。保育園・幼稚園・こども園の各園も学校と同様に日程通り開催する。

（小学校：4月8日、中学校：4月7日、高等学校：4月9日、各園は4月10日）

(2) 始業式

各校ともそれぞれの教室において校内放送を利用して実施。以降の授業について実施方法を今週中に調整予定。

（小学校：4月6日、中学校：4月6日、高等学校：4月8日）

4 イベント・行事等について

4月以降の外郭団体を含む市主催のイベント等の開催及び貸館については、3密※を避けるものに限るなど、国の指針等を参考に市で基準等を早期に設ける。（※3密=密閉空間・密集場所・密接場面）

5 本部長指示事項

(1) 専属で業務にあたる「奈良市新型コロナウイルス対策本部事務局」を設置する。

(2) 感染リスクの低い行事等については日常生活を取り戻せるよう保健所の指導を受けて実施を検討する。

(3) 基礎疾患がある等、感染で重症化する恐れのある職員への配慮策を検討する。

6 その他

奈良県市長会の会長として、県知事に保健所業務の対応の強化等の要望書を提出。（3月16日）